

佐賀大会趣旨・研究協議の視点

第63回全国公立学校教頭会研究大会佐賀大会

サブテーマ設定の理由及び研究協議の視点について

1 大会主題「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」

(第12期 全国統一研究主題 2年次)

<キーワード>：「志」・「豊かな心」・「未来を切り拓く」

[サブテーマ]：志を高くもち 豊かな心と未来を切り拓く力を育む 学校づくりの推進

2 佐賀大会のサブテーマ

第12期2年次にあたる佐賀大会は、第11期の成果と課題と、第12期全国統一主題及びキーワードの趣旨を踏まえて、サブテーマを「志を高くもち 豊かな心と未来を切り拓く力を育む 学校づくりの推進」と設定した。全国統一研究主題の「未来を生きる力」とは、子供たちが時代の進展・変化に的確に対応する「生き抜く力」であり、自ら積極的に未来を創造し意欲をもって行動する「生きる力」でもある。持続可能な社会の創り手としての子供たちに、未来への新たな夢を描く想像力と、高い志をもち協働して夢を実現する創造力を育み、「魅力ある学校づくり」の具現化を図るために、私たち副校長・教頭は何をすればよいのか、その役割を探っていききたい。

3 佐賀大会研究協議の視点

(1) 「未来を生きる力を育む」学校教育を考える

佐賀大会では、「未来を生きる力」を「志」「豊かな心」「未来を切り拓く力」ととらえる。予測困難で変化の激しい社会の中にあっても、子供たちが夢や目標をもち続け、その実現のために取り組む気持ちである「志」を高くもち、自立して未来を創造していくことができる「未来を切り拓く力」をいかに育むかということが求められている。また、超スマート社会の実現に向けた技術革新が進展する中、様々な社会的変化を乗り越えていくためには、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながらよりよい社会の実現に取り組もうとする「豊かな心」が必要となる。

それらを学校教育の中で育てていくための具体的な方策について、副校長・教頭としてリーダーシップを発揮し、継続性、協働性、関与性に焦点を当てた実践研究を行い、そこで得られた成果を共有し、それぞれの学校現場に還元することにより、更なる教育環境の充実につなげていく。

(2) 「魅力ある学校づくり」を考える

「魅力ある学校」とは、「創造性とチャレンジ精神をもって、変化の激しいこれからの未来を切り拓いていく教育に熱心に取り組んでいる学校」「地域、保護者、広く社会全体から求めた新しいパートナーと課題やビジョンを共有し、協働しながら様々な課題を解決したり新しい教育を創造したりしている学校」ととらえる。教職員が、心身ともに健康でその専門性や人間性を十二分に発揮して質の高い効果的な授業や教育活動を担っていくための働き方改革、人材育成、組織マネジメントも重要な視点となってくる。誰にとっても「魅力ある学校」を実現するための副校長・教頭としての役割、関わり方を明らかにし、資質・能力を高めるためにどのように自己研鑽に励んでいくべきか考えていく。